



川越市立霞ヶ関東小学校だより

たいよう

第4号 令和6年6月28日(金)

学校教育目標

- 【た】 たくましい子
- 【い】 生き生きと活動する子
- 【よ】 よく考える子
- 【う】 美しい心の子

「ぞうさん」の歌から

校長 関根 努

早いもので1学期も残すところ約1か月になりました。先日のキッズ・パラダイスでは、大勢の保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。春から少しずつ準備をしていましたが、リーダーを中心にグループで協力して活動していました。高学年の子供たちが下級生に気を配って、よくリードしている様子がたくさん見られました。「自分も楽しく、みんなも楽しい」そんなキッズ・パラダイスになって嬉しく思いました。

さて、「ぞうさん」の歌は皆さんも知っていますね。小さい頃によく歌って覚えている方も多いでしょう。作詞は「まど・みちお」さんで、昭和23年につくられました。この歌は、ぞうさんのほのぼのしている様子に感じますが、実は、深い意味が込められているそうです。

1番の「ぞうさん ぞうさん お鼻が長いね」は誰が誰に言っている言葉でしょうか。おそらく森の中で、猿だかキリンだかが子象に向かって言っている言葉です。「お鼻が長いね」は「お前の鼻は長くて変だぞ」という意味です。つまり「いじめ」の言葉なのです。ところが、子象は「そうよ母さんも長いよ」と言い返します。けっして、「お前だってお尻が赤くて変だぞ」とか「首が長いじゃないか」とは言い返しません。鼻が長いことに誇りをもっているのでしょうか。

そう言い返された猿だかキリンだかは、はっとしたのでしょうか。言葉ががらっと変わります。「ぞうさん ぞうさん 誰が好きなの」すると子象は「あのね母さんが好きなのよ」と返します。たったこれだけのやりとりのなかに、母親への愛情に裏打ちされた子象の強さが表現されています。

普段生活をしているときに、同じような悪口を言われて傷つくことはありませんか。もちろん、人の悪口などを言ってははいけません。いじめです。しかし一方で、何を言われてもそれは自分の個性だと、象さんのように誇りをもって答えられる人でありたいものです。友達からの何気ない言葉に、悔しい思いや悲しい思いをしたときに「ぞうさん」の歌詞をぜひ思い出してください。

ぞうさん
ぞうさん
おはなが ながいのね
そうよ
かあさんも ながいのよ

ぞうさん
ぞうさん
だあれが すきな
あのね
かあさんが すきなよ

